

マプリア林業体験研修会について

1 はじめに

大船渡農林振興センターでは、気仙地方林業振興協議会と連携し、森林計測業務の効率化、コスト削減の可能性について見識を深めることを目的に、スマートフォン等を活用して3次元データの取得を体験する、標記研修会を開催したので、その概要を紹介します。

2 研修会の概要

令和6年1月24日(水)、陸前高田市森林組合と陸前高田市気仙町地内の市有林を会場に、研修会を開催しました。

“マプリア林業”と呼ばれるサービスを利用するもので、代理店の業者の協力のもと実施し、市町、森林組合、森林管理署担当者の参加がありました。

(1) 木材検収及び周囲測量

スマホ等を用いて陸前高田市森林組合土場で木材検収、建物敷の周囲を測量しました。



木材検収では、はい積された木口面を移動しながらスマホで撮影することにより、径級や本数、材積、位置データを取得できます。

周囲測量では、設定した測点間を移動しながら測点毎に画面をタップすることにより、平面図の作成ができ、また、測点周囲の状況を画

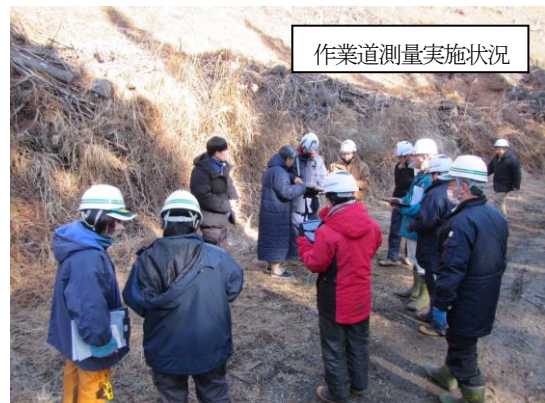
像データとして取得が可能で、検査時の測量杭の確認等が容易となることが期待されます。

参加者からは、測量機能について概ね好評を得ていました。

(2) 作業道測量・立木調査(陸前高田市有林)

作業道測量では、周囲測量と同様の方法により、平面図や縦断図の作成などが可能で、立木調査では、スマホを対象木にかざすことにより、樹高、胸高直径等のデータを取得できます。

また、画面上の仮想空間内で標準地プロット設定も可能となっており、効率的に業務を行うことが期待できます。調査範囲が広い場合には、バックパック式の機器の活用により、様々なデータの取得も可能です。



3 今後に向けて

参加者は従来作業と異なり、戸惑いもありましたが、気仙地方林業振興協議会では機器一式を借上げ、研修会に参加できなかった事業者を含め業務で活用につなげていくこととしています。

当センターでは、様々な機会を捉え、林業・木材産業の効率化による低コスト化に向けた取組を継続していきたいと考えています。